

## 単元名 人の生活と自然環境

配当時間 1 時間

## 単元の目標

- (2) 人の生活と自然環境との関わりについて、より妥当な考えをつくり出し、その考えを表現することができる。
- (3) 人の生活と自然環境との関わりについて、進んで調べようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

## 標準的な展開例

06050303\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 人の生活と自然環境との関わりについて知り、自分たちができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地球にはどのような自然があり、どのような生き物が住んでいるかを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・知床も白神山地も小笠原も世界自然遺産だよ。</li> <li>・たくさんの自然があるね。</li> <li>・豊かな自然の中に、たくさんの動物がいるよ。</li> </ul> </li> <li>★人の生活と自然環境がどのように関わっているか知り、自分たちにできることを考えよう。</li> <li>○人と環境との関わりについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森を切り開いたり、海を埋め立てたりしているよ。</li> <li>・たくさんのごみを出して、水や空気を汚している。</li> </ul> </li> <li>○人が自然保護のため、取り組んでいる活動を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの地域でごみを拾う活動を行っているよ。</li> <li>・ガソリンを出さない電気自動車など、環境にやさしいものが作られているよ。</li> </ul> </li> <li>○自分たちができる環境保全について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物を必要なだけ買って、ごみを減らす。</li> <li>・こまめにスイッチを切ったり、なるべく乗り物を使わずに行動する。</li> <li>・私たち一人一人が「かけがいのない地球」（国連人間環境会議のキャッチフレーズ）の住人であることを自覚して、自分にできることから生活を工夫する取組を始めたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この単元の指導に当たっては、持続可能な社会の構築という視点で扱うようにする。</li> <li>・教科書P. 216～P. 217の写真を参考にさせる。</li> <li>・教科書P. 218を参考にさせる。</li> <li>・人が利用できる自然には限りがある。</li> <li>・まわりとの調和を考えず開発を続けると、動物、植物が住めなくなり、人にとって暮らしにくい環境になることを押させる。</li> <li>・教科書P. 219～P. 221の写真を参考にさせる。</li> <li>・本、インターネットを使って調べさせる。</li> <li>・小さな活動でも多くの人が取り組むことによって、地球環境を守ることができることを押さえない。</li> <li>・生活を工夫する取組みを始めることが大切であることを理解させる。</li> </ul> <p>【評】自然を守る活動について調べ、話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

〈関連〉

- ・第3学年「生き物を調べよう」「こん虫の世界」
- ・第4学年「季節と生き物」
- ・中学校第1学年「生物の観察と分類」